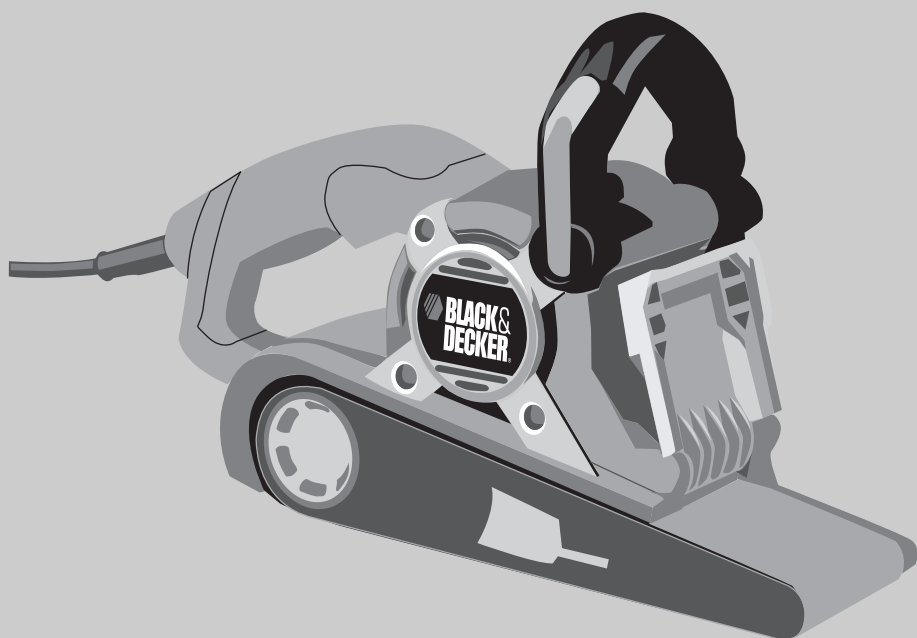
# 取扱説明書

## Dragsterベルトサンダー

## KA3000

回 アース不要の二重絶縁構造

このたびは「ブラック・アンド・デッカー Dragsterベルトサンダー」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。
この取扱説明書を大切に保管し、必要な時に備えてください。

# 目　　次

安全上のご注意…… 2
警告（電動工具を安全にお使いいただくために）…… 2
警告（ベルトサンダーに関する安全上の追加事項）…… 4
注意（ベルトサンダーに関する安全上の追加事項）…… 4
製品の各部名称…… 5
製品の特色と使用方法…… 5
メンテナンス…… 7
アフターサービスについて…… 7
アクセサリー…… 7
製品仕様…… 7

# 安全上のご注意

| ⚠ 注意 | 正しく安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書にある指示事項を全てお読みください。<br>お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。 |
|---|---|

安全上のご注意（必ずお守りください）
電動工具をお取扱いの際には、火災や感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

・表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。

| ⚠ 警告 | この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。 |
|---|---|

| ⚠ 注意 | この表示の欄は、「障害を負う危険性または物的障害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |
|---|---|

・お守りいただく内容を、次の絵表示で説明しています。

| ⚠ | このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」です。 |
|---|---|

## ⚠ 警告　電動工具を安全にお使いいただくために

**◆作業場の環境について**

- **明るく清潔で、乾いた場所で作業してください。**散らかった作業場や作業台での作業は事故の原因になります。
- **雨中や湿った場所など本体内部に水の入りやすいところでは使用しないでください。**湿気はモーターなどの電気絶縁を低下させ、感電事故につながります。
- **危険物のまわりでは決して作業しないでください。**通常、電動工具は使用中またはスイッチのオン・オフ時にスパーク（火花）が発生しますので、引火性の液体やガスのある場所の近くで使用しないでください。
- **屋外でのご使用には、用途に適した延長コードをご使用ください。**屋外でご使用になる場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- **お子様を近づけないでください。**お子様や外部の方、訪問者が電動工具に触れないようにしてください。作業場所は作業者以外、立入禁止にしてください。

**◆個人的な警告事項**

- **不用意なスイッチ・オンは決してしないでください。**持ち運ぶ間はスイッチに手を触れないようにしましょう。不意にスイッチが入り刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。
- **保護メガネや他の保護器具を必ず使用してください。**飛散する切り粉から目を守るために保護メガネを必ず着用してください。ホコリが大量に出る切断作業では健康のためにも防じんマスクを併用してください。作業環境によっては耳栓、ヘルメット、手袋、安全靴の使用も必要です。

**◆電気に関する安全事項**

- **電源コードを乱暴に扱わないでください。**コードの部分を持って工具をぶら下げて持ち運んだり、コンセントから外す際にコードを引っぱったりしないでください。感電やショート等の原因となるので、コードを熱いものや油、薬品類に接触させたり、鋭利なものでキズをつけないように注意してください。万一、誤ってキズをつけた場合はその箇所に手を触れず、直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。キズついたコードは火災を引き起こす危険性があります。
- **感電に注意してください。**電動工具の使用中、絶対に身体をアースされているものに接触させないでください。

**◆個人的な注意事項**

- **常に注意して作業を行なってください。**電動工具を使用する際、取扱方法、作業の手順、周囲の状況などに十分注意し、作業に集中してください。疲労時や飲酒、薬の服用時などには決して使用しないでください。使用時の集中力の欠如は重大な事故を引き起こす原因となります。
- **キチンとした服装で作業を行なってください。**そで口の開いた服装や宝石類を身に付けないでください。電動工具の駆動部分に巻き込まれる恐れがあります。屋外で作業をする際には、滑り止めのついた履き物を着用することをお勧めします。長髪の方は作業の邪魔にならないように帽子などをかぶってください。
- **調整用キー、レンチ等は、使用時以外は必ず取り外してください。**スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が全て取り外されているかどうか、常に確認する習慣をつけてください。
- **無理な姿勢で作業をしないでください。**常に足場を安定させ、バランスを保つようにしてください。無理な姿勢は、思わぬ事故を引き起こす原因となります。
- **電動工具に無理な力をかけないでください。**電動工具は、機械本来の用途や負荷状態の限度内でご使用いただくのが基本です。また、所定の速度で使用することによって、仕上がりの良い安全な作業ができます。
- **作業に合った電動工具を使用してください。**指定された用途以外には使用しないでください。小型の電動工具やアタッチメントを、大型の電動工具が必要な用途の作業に使用しないでください。
- **使用していない電動工具はお子様や初心者の方の手が届かないところに保管してください。**電動工具はお子様や初心者の方には大変危険なものです。使用していない時は子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

**◆工具の使用と手入れ**

- **加工材はしっかりと固定して作業してください。**クランプや万力などで加工材を固定してください。手で保持するよりも安全ですし、両手で電動工具を使用することは安全につながります。
- **スイッチが入らない、あるいは切れない場合は、ご使用を直ちに中止してください。**スイッチの故障した電動工具は、不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。所定のサービスセンターで修理してください。
- **電動工具の調節や刃物、ビット類の交換の際には、必ずプラグをコンセントから外してください。**また、必ずスイッチがオフであることも確認してください。こうした確認は不意に電動工具が作動して引き起こす事故を防止します。
- **指定の付属品、アタッチメントを使用してください。**ブラック・アンド・デッカー社製工具への使用を推薦していない付属品やアタッチメントの使用は危険をともなうことがあります。
- **損傷部品を点検してください。**引き続き使用する前に、安全カバーやその他の部品に損傷がないか点検してください。また正しく動作するか、所定の機能が発揮されるかどうかを確認してください。可動部分の位置ずれや引っかかり、部品の破損、取り付け状態、その他に異常がないか点検してください。損傷した不良部品は、所定のサービスセンターで修理または交換してください。
- **電動工具と刃物類は、こまめに手入れをしてください。**安全で効率の良い作業をしていただくために、刃物類はよく手入れをし、シャープな状態を保ってください。握り部は常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。電動工具は常に手入れのゆきとどいた状態で使用してください。

**◆修理／メンテナンス**

- **電動工具の修理は認定技術者のみが行なえます。**修理、メンテナンス、調整はブラック・アンド・デッカー認定サービスセンターの認定技術者が行なわなければなりません。
- **純正部品のみを使用してください。**十分な能力を発揮するために、修理、メンテナンス、調整は、純正部品のみを使用して行なわなければなりません。

## ⚠ 警告　ベルトサンダーに関する安全上の追加事項

- **銘板に表示されている定格電圧が電源と一致していることを必ず確認してください。**定格電圧は銘板に記載されています。
- **使用中は、工具本体を確実に保持してください。**確実に保持していないと、けがの原因になります。
- **使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を停止し、お買い求めの販売店、弊社営業所もしくは、所定のサービスセンターで点検・修理を依頼してください。**そのまま使用を続けると、けがの原因になります。
- **誤って落としたり、ぶつけたときは、アタッチメントや付属品、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく確認してください。**破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- **使用中は軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**電動工具の駆動部分に巻き込まれ、けがの原因になります。
- **加工材はしっかりと固定して作業してください。**クランプや万力などで加工材を固定してください。
- **加工材を手で保持しての研磨はしないでください。**けがの原因になります。
- **本機を固定しての作業はしないでください。**けがの原因になります。
- **作業前に、木材に釘等の異物が含まれていない事を十分に確認してください。**事故の原因になります。
- **水砥ぎ研磨用途には使用しないでください。**感電事故のもとになります。
- **石綿は人体に有害です。**このような成分を含んだ材料を加工する作業では防じん対策を十分にしてください。
- **有鉛のペンキ上を研磨しないでください。**鉛成分を含んだ粉じんは、人体に有害です。

## ⚠ 注意　ベルトサンダーに関する安全上の追加事項

- **サンディングベルトや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**確実でないと、はずれたりして、けがの原因となります。
- **使用中は、作業面に手や顔などを近づけないでください。**けがの原因になります。
- **高所作業を行なうときは、下に人がいないことを良く確認してから作業を行なってください。**材料や機械を落としたときなど、事故の原因になります。
- **サンダーを駆動させたまま、台や床などに放置しないでください。**けがの原因になります。

電動工具のラベルには、下記のマークが含まれることがあります。

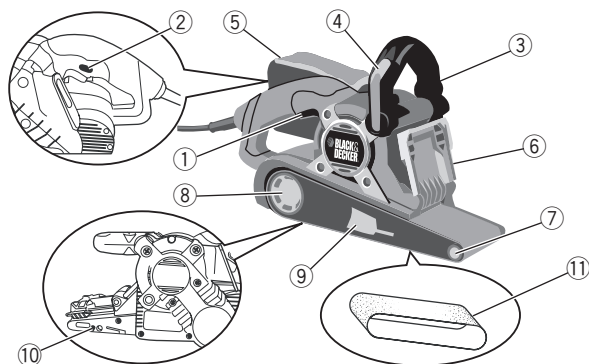
回　・・・・・・・・・・　二重絶縁

本機は二重絶縁構造になっており、工具の外側の部品は電力の供給源と絶縁されており、アースしなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

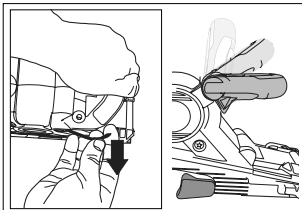
## 延長コード

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。
使用できるコードの太さ（公称断面積）最大長関係

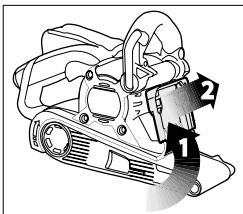
| コードの太さ（導体公称断面積） | コードの最大長さ |
|---|---|
| 0.75mm$^2$ | 15m |
| 1.25mm$^2$ | 25m |

# 製品の各部名称

① トリガースイッチ
② ロックオンスイッチ
③ 3段階調節ハンドル
④ ハンドル調節レバー
⑤ 集じんダストバッグ
⑥ リトラクタブルカバー
⑦ 小ベルト軸
⑧ 大ベルト軸
⑨ ペーパー取付けレバー
⑩ ベルト位置調節ノブ
⑪ サンディングベルト

# 製品の特色と使用方法

**◆3段階調節ハンドルの調節方法**

3段階調節ハンドル上に収納されているハンドル調節レバーを矢印の方向に引き上げることによりハンドル位置を3段階に調節することができます。作業に合わせて最適なハンドル位置で作業を行ってください。

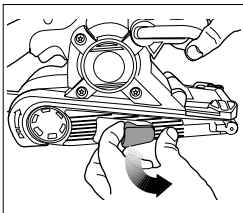
**◆リトラクタブルカバー利用方法**

⚠ **注意** リトラクタブルカバーを開けた状態で作業する際は、上側の研磨面に注意して作業を行ってください。

本製品前方部のリトラクタブルカバーは図のように開け・閉めすることが可能です。

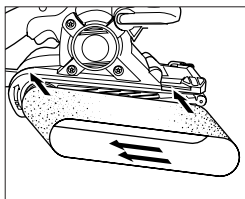
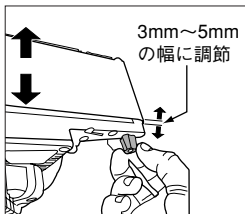
- 開けた状態で研磨作業を行うと、狭い隙間の研磨や上側を利用した研磨作業が可能となります。
- また前側の小ベルト軸を利用して研磨作業を行うことができます。（リトラクタブルカバーを閉めた状態では前側の研磨作業は行えません。）

⚠ 本機能を利用するためには3段階調節ハンドルを垂直（90度）の位置に調節してください。

**◆サンディングベルトの取付け・取外し方**

⚠ **警告** サンディングベルトの取付け・取外しの際は必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。プラグを電源につないだまま行うとけがの原因となります。

**サンディングベルトの取付け方**

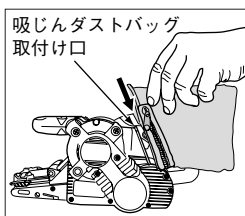
以下の手順でサンディングベルトを取付けてください。

1. ペーパー取付けレバーを矢印の方向に引き出してください。

2. 図のようにサンディングベルトの向き（大ベルト軸方向に回転方向「※通常矢印」を合わせる）に注意して、大・小ベルト軸の周りに取付けてください。（付属品のサンディングベルトには内側に矢印有り。）
3. ペーパー取付けレバーを元の位置に戻してサンディングベルトをしっかり固定します。

**ベルト位置調節ノブ**

ベルトを取付けた後、ベルト位置調節ノブを利用してサンディングベルトの回転軌道の調節を行うことができます。サンディングベルトを取付後、本体を左図のように逆さまに向けスイッチを入れ、サンディングベルトの回転軌道を確認します。サンディングベルトの回転軌道が本体から外側にはみ出している場合はベルト位置調節ノブを時計回りに回して調節してください。また軌道が内側に入っている場合は調節ノブを反時計回りに回し調節してください。

サンディングペーパーのサイズは幅76m×533mmです。使用前にベルトサイズをご確認ください。また作業に合った粒目のサンドペーパーをご使用ください。

**◆吸じんダストバッグの取付け・取外し方・お手入れ方法**

吸じんダストバッグの取付け・取外し・またはお手入れの際は必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。プラグを電源につないだまま行うとけがの原因となります。

**取付け方**

図のように吸じんダストバッグ取付け部（黒プラスチック）を、ダストバッグ取付口に上方より下方にスライドさせながら取付けてください。

**取外し方**

取外しの際は、取付けと逆の手順で行ってください。

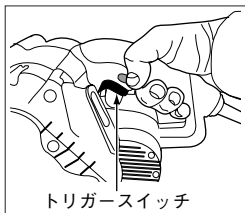
**お手入れ方法**

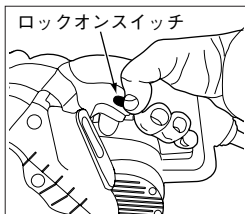
連続使用の場合、吸じんダストバッグは約10分おきに本体から取外し、ダストバッグのジッパーを開けて、中の粉じんを取り出してください。ダストバッグが著しく汚れた際は、水洗いをし、しっかり乾燥させた後ご使用ください。

**集じん機アダプターの利用方法（集じん機アダプター 内径35mm、外径37mm）**

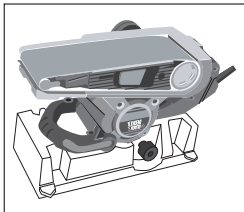
付属の集じん機アダプターを利用して、集じん機に接続して使用することができます。ダストバッグ取付口に集じんダストバッグと同じ手順で取付け・取外しが行えます。

**◆スイッチの操作方法**

プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れている状態（ロックオンスイッチが作動していない状態）であることをご確認ください。プラグを電源につないだまま行うとけがの原因となります。

左図のように、トリガースイッチを引くと作動します。またトリガースイッチを放せば停止します。

トリガースイッチを引いた状態でロックオンスイッチを押すと、トリガースイッチがロックされ継続的に作業する場合にとても便利です。ロックを解除するには、トリガースイッチをもう一度引いてください。

**◆作業中のヒント**

- 両手で本体をしっかりと固定してご使用になってください。サンディングがけは木目にそって行うときれいな仕上がりになります。
- 作業にあった粒目のサンディングベルトを使用して作業を行ってください。
- 使用中、研磨力が落ちてきたら、新しいサンディングベルトと交換してください。
- 作業中、無理に本体を押さえつけないでください。作業の効率が低下するばかりでなく、モーターの故障やサンディングベルトの寿命の低下にもつながります。
- 作業中、本体が異常に熱くなった場合は数分間休ませた後、使用を再開してください。
- 本体の通風孔が粉じん等でふさがれないよう、定期的に本体を掃除してください。

**◆インバージョンスタンド（別売：品番KA-S1）**

インバージョンスタンドを利用してベルト底面でサンディング作業を行えます。（取付け方、使用方法はインバージョンスタンドの説明書をご参照ください。）

# メンテナンス

⚠ **警告** 点検・手入れの際は、必ずプラグをコンセントから外してください。プラグを電源につないだまま行なうと事故の原因になります。

製品の掃除には、から拭き、水またはぬるま湯でうすめた中性洗剤を湿らせた布で表面を拭いてください。テレピン油、ペイント用シンナー等の薬品は使用しないでください。製品内部に液体が入らないように、また製品本体を液体に浸けないように十分注意してください。

# アフターサービスについて

本機の修理、メンテナンス、調整はブラック・アンド・デッカー認定サービスセンターにて認定技術者が純正部品を使用して行なわなければなりません。かならずお買い上げの販売店または弊社認定サービスセンターまでご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行ないますと、事故やケガの恐れがあります。

# アクセサリー

本製品用の付属品は各販売店もしくはブラック・アンド・デッカーのサービスセンターにて販売しております。また、付属品についてのお問い合わせはブラック・アンド・デッカーまでお電話ください。

⚠ 弊社の認定しない付属品のご使用は、重大な危険をともなう可能性があります。

# 製品仕様

| 品　番 | KA3000 |
|---|---|
| 電　源 | AC100V　50/60Hz |
| 消費電力 | 720W |
| ベルト速度 | 250メートル/分 |
| ベルトサイズ | 幅76mm×533mm |
| 本体質量 | 3.3kg |
| コード長 | 3m |
| 付属品 | #80サンディングベルト、集じんダストバッグ、集じん機アダプター |

ポップリベット・ファスナー株式会社
ブラック・アンド・デッカー事業部
〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-29-12
メトロシティ南池袋ビル
Tel: 03 (5979) 5677 Fax: 03 (5979) 5788

478714-00

www.blackanddecker-japan.com